

日仏美術学会 第140回例会
両大戦間期の装飾芸術
—モード・壁画・他者・大衆—

日時：2016年7月2日（土）14時30分～17時15分

場所：京都大学文学部校舎1階 第2講義室（京都市左京区吉田本町）

市バス「京大正門前」下車すぐ／京阪電車「出町柳」下車徒歩12分

◆発表

14時30分～15時10分 山本友紀（京都嵯峨芸術大学講師）

「装飾芸術の公共性—1937年パリ万博の壁画作品を中心に—」

15時20分～16時00分 朝倉三枝（神戸大学准教授）

「漆と服飾—ジャン・デュナンとマダム・アニエスの協働—」

◆質疑応答（全体討論）

16時15分～17時15分 コメンテーター 天野知香（お茶の水女子大学教授）

◇コーディネーターと司会：大久保恭子（京都橘大学教授）

連絡先 E-mail：okubo-k@tachibana-u.ac.jp Tel：075-571-1111

学会員以外の方のご聴講も歓迎します。皆様のご参加をお待ちしております。

日仏美術学会

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-9-25 日仏会館内

E-mail：art-francojaponais@digital.email.ne.jp Tel/Fax：03-3440-1686